

ように自動車の洪水のような街路を巧みに走り抜けるようなことはやはり人間の方が自動制御装置より数倍高級な作用をしてくれる。低速で走る自動操向の運搬車はすでに実用されているし、自動操向の残された研究分野は、結局、1) 高速自動車道路を走る遠距離定期トラック・バスの運転者の疲労の軽減のため、2) 人間が乗っている危険な衝突等の実験および悪路による自動車の耐久試験の場合の運転者の代用品として、3) 人間によって自動車の操縦性を判定する場合には主観的な人間的誤差が入るから、標準となる自動操向装置を自動車に載せて操向させ客観的なデータを集める、4) 自動車を操縦する人間の動作を自動操向装置で完全に模擬させて逆に人間工学的な研究の道具として使うことなどである。

筆者の浅学非才のため、説明不十分でわかりにくい点、独断的な箇所も多くあったと思うがお許しを願って拙文を終わることにする。(1961. 2. 28)

文 献

1) 菊池：自動車の自動操縦，自動制御，Vol. 3. No. 3 (1956) p. 141~152.
 菊池他：自動車の自動操向に関する基礎的研究 (第 1 報 模型自動車による実験)，自動車技術，Vol. 14, No. 8(1960)p. 306~308.

Pierre Devaux: "Automates et Automatiime" (1948) p. 56, que-sais-je?
 2) N. Wiener: "Mensch und Menschmaschine" (1952) p. 175, Alfred Metzner Verlag. Mesures et controle industriel, No. 182(1952) p. 148.
 3) O. Macek ATZ. 57 Jahrg. Heft 2, Feb.(1955) S. 31/34.
 4) 大串：科学朝日，Vol. 15, No. 3(1955)p. 48. " Vol. 19, No.9(1959)p.53~55.
 5) 浅井・土生：自動制御，No. 3(1956) p. 55.
 6) Y.Chu & Bufford P.N.: Land Vehicle Guidance by Radar, IRE, 1959. National Convention Record, p. 95~112.
 7) W. E. Bushor: Electronics and the American Automobile, Electronics, engineering issue, Nov. 21, 1958, p. 73~79.
 8) 菊池：ハンドルの重さと操縦性，自動車技術会論文集，No. 6, 1959,
 9) 菊池：自動車の運動性能に及ぼすタイヤ横剛性と車体のロールの影響，機械学会第 37 期通常総会学術講演会，機械力学等前刷，p. 15~18.
 10) 井口：運転者の運動性能からみた自動車の走行安定性，機械学会誌，Vol. 62, No. 491, 1959, p. 1715~1722.
 井口他：模擬自動車による運転者の制御動作の基礎研究，自動車技術会論文集，No. 7 1960, p. 1~7.

正 誤 表 (4月号)

頁	段	行	種 別	正	誤
1	右	1	本 文	横傾斜角	横傾角
"	"	2	"	縦傾斜角	縦傾角
2	左	12	"	[(1), (2)式]	[(1), (2)式
8			第 1 表	純ジルコニウム	純シリコニウム
表紙 3	左		筆者紹介	田宮真 教授	田宮真 助教授
"	"		"	安藤良夫 工博 を入れる	
"	"		"	日本原子力研究所 東海研究所	日本原子力東海 研究所
"	"		"	長谷川功三専攻 溶接工学	長谷川功三専攻 船体構造学

☆ ☆ ☆

次 告 予 告 (6月号)

退官記念講演

日本の塩.....岡 宗次郎

研究解説

原子炉用 Zr 合金の溶接.....安藤 良夫
 雷放電カウンタによる測定.....藤高 周平
 河村 達雄

海外事情

米欧の電気工学 (II)森脇 義雄

研究速報

拡張誤差函数を裏函数に含む
 新しいラプラス変換式安達 芳夫
 関数 $I_1(z; x_1, x_2)$ と $I_2(z; x_1, x_2)$ の性質
安達 芳夫
 渡辺 勝

超音波厚み計による板波の観察.....尾上 守夫
 化学反応により整流，記憶発振作用を
 行なう電解質装置山本 啓太